

第56回腎癌研究会 プログラム

▶ 1日目 2026年7月3日(金)

A会場(7F アイーナホール) 13:00-18:05

開会式 13:00-13:05

O1 優秀演題セッション 13:10-14:10

座長: 舩森 直哉(札幌医科大学 泌尿器科)
伊藤 敬一(防衛医科大学校 泌尿器科)審査員: 小原 航(岩手医科大学 泌尿器科学講座)
藤井 靖久(東京科学大学大学院 腎泌尿器外科学分野)
近藤 恒徳(東京女子医科大学足立医療センター 泌尿器科)
神波 大己(熊本大学 泌尿器科)

O1-1 腎細胞癌の癌化におけるリン脂質生合成の意義の解明

井藤 練刀(岩手医科大学)

O1-2 TFE3再構成腎細胞癌におけるMediator Kinase Moduleの転写制御機構と治療標的としての可能性

黒田庄一郎(熊本大学 泌尿器科)

O1-3 腎癌におけるMHC-II自己抗原提示とTreg依存性免疫回避機構の解明

種子島時祥(九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野/国立がん研究センター先端医療開発センター免疫TR分野)

O1-4 腎細胞がんにおける予後因子としての炎症性マーカーと腫瘍微小環境の解析

近藤 花栄(東京女子医科大学病院泌尿器科)

O1-5 Intermediate-High Risk 淡明細胞型腎細胞癌における術後再発リスクの再層別化:腎癌研究会国内多施設共同研究

中山 哲成(獨協医科大学埼玉医療センター泌尿器科)

O1-6 淡明細胞型腎細胞癌における術後再発ハザード率の経時的推移と後期再発の特徴:2施設共同研究

羽鳥 拓海(東京科学大学大学院 腎泌尿器外科学)

SS1 スポンサーセミナー1「基礎研究と臨床応用の融合から探る腎癌治療の戦略」14:20-15:05

座長: 赤松 秀輔(名古屋大学 泌尿器科)
岸田 健(神奈川県立がんセンター 泌尿器科)

共催: エーザイ株式会社

SS1-1 腎癌の個別化医療実現に向けた分子層別化—オールジャパン連携による臨床実装への展開—

軸屋 良介(横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学)

SS1-2 エビデンスとリアルワールドデータから考える腎癌一次治療戦略

飯沼 光司(岐阜大学医学部附属病院 泌尿器科)

総会 15:15-15:45

JS1 研究会主導セッション1「腎癌診療の Shared Decision Making」 17:05-18:05

座長：藤井 靖久（東京科学大学大学院 腎泌尿器外科学）

高橋 正幸（高松市立みんなの病院 泌尿器科）

コメンテーター：石島 みさ（再発転移治療中の腎がん患者会 avec（アベク）代表）

JS1-1 あらゆるステージの腎癌診療における Shared Decision Making：患者にとって納得できる治療選択を目指して

大澤 崇宏（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野）

JS1-2 社会生活・就労を踏まえた腎癌薬物療法導入時の SDM

水野 隆一（聖マリアンナ医科大学 腎泌尿器外科学）

JS1-3 ～医師は“共有”できているつもりになっていないか～

三浦 徳宣（愛媛大学医学部 泌尿器科）

B会場（8F 804号室） 15:55-16:55

Poster Session1 15:55-16:55

座長：馬場 理也（熊本大学 泌尿器科）

P-1 全国ゲノムデータベースを用いた腎細胞癌の遺伝子変異プロファイルと予後関連分子クラスターの解析

占部 文彦（東京慈恵会医科大学 泌尿器科学講座）

P-2 空間トランスクリプトミクス解析による腎細胞癌における肉腫様転化と免疫応答機構の解明

門本 卓（金沢大学泌尿器科）

P-3 HLRCC 関連腎癌の腫瘍間・腫瘍内不均一性の多層的解明

軸屋 良介（横浜市立大学 大学院医学研究科 泌尿器科学／理化学研究所 生命医学研究センター がんゲノム研究チーム）

P-4 Single-cell RNA sequencing による HLRCC の腫瘍内不均一性の解析

川浦 沙知（横浜市立大学附属病院泌尿器科）

P-5 腎細胞癌におけるミトコンドリア DNA 変異と術後再発との関連：全ミトコンドリアゲノム解析による検討

杠 総一郎（東海大学医学部外科学系腎泌尿器科学領域）

P-6 HIF1 α は脂肪酸合成への代謝シフトを誘導し TFE3 再構成腎細胞癌の発生に重要な役割を果たす

久高 麗鷹（熊本大学病院生命科学研究所泌尿器科学講座）

Poster Session2 15:55-16:55

座長：長嶋 洋治（東京女子医科大学 病理診断科）

P-7 腎細胞癌腫瘍微小環境における SLFN11 による抗腫瘍免疫応答機構の解明

加藤 大悟（大阪大学大学院医学系研究科泌尿器科）

P-8 腎細胞癌に対する治療薬としての A 型 CpG D35 脂質ナノ粒子 (D35LNP) の応用

大木 雅晴（長崎大学病院）

P-9 淡明細胞型腎細胞癌における病理形態の形成メカニズムの解明

永田祐二郎（産業医科大学 泌尿器科学講座）

P-10 腎細胞がんにおける γ -Glutamylcyclotransferase 発現抑制による PKMYT1 低下とアポトーシス誘導

宮崎 慎也（京都府立医科大学 泌尿器外科学／パナソニック健康保険組合 松下記念病院 泌尿器科）

P-11 腎細胞癌の術後再発に関する臨床病理学的検討

大西 聡（聖マリア病院）

P-12 転移を有する腎細胞癌 (mRCC) における H&E 標本を用いた腫瘍免疫微小環境 (TME) 評価と免疫療法効果

関 敦子（東京女子医科大学病院 病理診断科）

P-13 BRAF V600E 変異を伴う SDH 欠損性腎細胞癌の一例

中村 雄（杏林大学医学部附属病院 泌尿器科）

Poster Session3

15:55-16:55

座長：前田 佳子（東京女子医科大学附属足立医療センター 骨盤底機能再建診療部）

- P-14 遺伝性平滑筋腫腎細胞癌（HLRCC）の一家系内の遺伝検索およびFH変異保持者のサーベイランス
田代康次郎（東京慈恵会医科大学 泌尿器科／東京慈恵会医科大学病院 遺伝診療部／厚木市立病院 泌尿器科）
- P-15 当院におけるAYA世代腎癌の臨床的検討
坂井 友弥（久留米大学泌尿器科）
- P-16 当院におけるAYA世代の腎癌患者の検討
町田愛里沙（岩手医科大学附属病院 泌尿器科学講座）
- P-17 遺伝性疾患が疑われた若年者に発生した腎細胞癌の1例
吉田 茉樹（栃木県立がんセンター 泌尿器科／獨協医科大学 泌尿器科）
- P-18 カボザンチニブ治療中の患者報告アウトカム（PRO）介入がQOLに与える影響：国内第II相試験事後解析
大澤 崇宏（新潟大学 歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野）
- P-19 ICI既往歴を有する腎細胞癌に対するカボザンチニブの有効性、安全性およびQOLの探索的解析：第II相試験事後解析
近藤 恒徳（東京女子医科大学附属足立医療センター 泌尿器科）
- P-20 地域連携クリニックにおける腎癌術後患者のフォローアップの検討
清水 貴大（千葉大学医学部附属病院）

Poster Session4

15:55-16:55

座長：釜井 隆男（獨協医科大学 泌尿器科）

- P-21 転移を有する腎細胞癌における血清KIM-1の予後予測バイオマーカーとしての有用性、及び腫瘍免疫微小環境との関連
雲野 陽大（東京女子医科大学 泌尿器科／千葉西総合病院 泌尿器科）
- P-22 進行性腎細胞癌の一次治療免疫複合療法におけるKIM-1の検討
藤井 央法（山口大学）
- P-23 転移性腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬ベース治療における血漿KIM-1の治療法別予後的意義
竹村 弘司（虎の門病院臨床腫瘍科）
- P-24 淡明細胞型腎細胞癌におけるCRPと腫瘍免疫微小環境の関連
井上 稔（獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科）
- P-25 腎癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用療法における重症免疫関連有害事象の予測因子：好酸球関連パラメータに着目した探索的後方視的解析
上川 裕輝（春日井市市民病院）
- P-26 腫瘍浸潤好酸球は腎細胞がん患者におけるイビリムマブとニボルマブ併用療法による重症免疫関連有害事象発症の予測因子となる
田崎 慶彦（名古屋市立大学大学院 医学研究科 臨床薬学分野）
- P-27 転移性腎細胞癌に対するカボザンチニブの治療薬物モニタリングの有用性の検討
大久保佳祐（秋田大学大学院医学研究科腎泌尿器科学講座）

Poster Session5

15:55-16:55

座長：玉田 聡（ベルランド総合病院 泌尿器科）

- P-28 Real-worldにおける転移性腎細胞癌に対する免疫複合療法の治療成績：横浜市立大学関連多施設共同後向き研究
十一 竜馬（神奈川県立がんセンター 泌尿器科）
- P-29 転移性腎細胞癌における一次薬物療法の使い分けと実臨床成績
内藤 宏仁（香川大学 医学部 泌尿器科）
- P-30 進行性淡明細胞型腎細胞癌に対する1次免疫複合療法の治療成績は向上している
田中 俊明（札幌医科大学泌尿器科）
- P-31 遠隔転移を有する腎細胞癌患者のIO-TKI療法後早期腫大は無増悪生存期間の予測因子となる
大和 俊介（三重大学医学部附属病院 腎泌尿器外科）
- P-32 進行性腎細胞癌に対するニボルマブ+カボザンチニブ併用療法の有効性と安全性：多施設共同研究
飯沼 光司（岐阜大学医学部 泌尿器科）

- P-33 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ+カボザンチニブ併用療法における肥満と有害事象の関連
中井 啓裕 (東京女子医科大学附属足立医療センター泌尿器科)
- P-34 進行性腎細胞癌に対するニボルマブ+カボザンチニブ併用療法において腫瘍増大時のカボザンチニブ増量による腫瘍縮小効果の検討
葛山 七花 (東京女子医科大学附属足立医療センター)

Poster Session6

15:55-16:55

座長：安部 崇重 (北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室)

- P-35 転移性腎細胞癌におけるニボルマブ+イビリムマブ治療後の長期無増悪・無治療生存 — 最低5年追跡臨床研究 —
生駒 弘明 (名古屋市立大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学分野)
- P-36 転移出現時期がNivolumab + Ipilimumab の治療効果および予後に及ぼす影響：IMPACT-8 多施設共同研究
植田 浩介 (久留米大学医学部泌尿器科学講座)
- P-37 腎摘未施行進行性腎細胞癌における NIVO + IPI 療法の早期効果を予測する CRP 変化の意義
伊東 直城 (久留米大学病院 泌尿器科)
- P-38 ニボルマブ+イビリムマブ併用療法を受けた転移を有する腎細胞癌における転移臓器数および転移部位の予後影響：多施設後ろ向き研究
松田 剛 (長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科)
- P-39 当院における乳頭状腎細胞癌に対するニボルマブ・イビリムマブ併用療法の治療経験
小林 将行 (千葉県がんセンター)
- P-40 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ・イビリムマブ併用療法中に間質性肺炎を発症し、救命し得なかった1例
山田 豊博 (総合大雄会病院 泌尿器科)
- P-41 トシリズマブ投与により緩解しえた再燃間質性肺炎に伴うサイトカイン放出症候群の1例
吉田 裕貴 (ベルランド総合病院)

Poster Session7

15:55-16:55

座長：深沢 賢 (船橋市立医療センター 泌尿器科)

- P-42 ICI 併用療法時代における腎摘除の有無に着目した同時性および異時性転移性腎細胞癌の予後比較
永山 洵 (名古屋大学医学系研究科泌尿器科学)
- P-43 転移性腎細胞癌に対する周期免疫チェックポイント阻害薬併用療法の初期経験と当院の戦略
西澤 秀和 (熊本大学大学院生命科学研究所泌尿器科学講座)
- P-44 転移性腎癌一次複合免疫療法の腎機能に対する影響に関する検討
別宮 謙介 (岡山大学病院腎泌尿器科)
- P-45 病理組織診断を待てない転移性腎細胞癌：複合免疫療法時代における臨床像と予後
富田諒太郎 (徳島大学病院)
- P-46 熊本大学における術後補助ペンプロリズマブ療法の治療成績
穴見 俊樹 (熊本大学大学院生命科学研究所泌尿器科学講座)
- P-47 進行腎細胞癌における Lenvatinib + Pembrolizumab 療法の初期相対用量強度と治療効果の検討
西村 紘一 (東京女子医大附属足立医療センター 泌尿器科)
- P-48 KL-6 異常高値を認める Lenvatinib-Pembrolizumab 併用療法が著効した Unclassified 腎細胞癌の1例
佐藤 太一 (岩手医科大学)

Poster Session8

15:55-16:55

座長：中村英二郎（国立がん研究センター中央病院 泌尿器・後腹膜腫瘍科）

- P-49 VHL-RCC患者におけるベルズチファン内服早期の効果および副作用の状況
増井 仁彦（京都大学大学院医学研究科 泌尿器科）
- P-50 久留米大学における進行性腎細胞癌に対する Belzutifan 使用経験
植田 裕明（久留米大学病院）
- P-51 ベルズチファン治療の初期経験
安藤 敬佑（千葉大学医学部附属病院）
- P-52 当院におけるベルズチファンの初期使用経験の検討
磯田 文平（筑波大学）
- P-53 岐阜大学における進行性腎細胞癌に対するベルズチファンの初期使用経験
飯沼 光司（岐阜大学医学部 泌尿器科）
- P-54 肺転移を有する TFE3-rearranged 腎細胞癌に対してベルズチファンが有効であった一例
中村 和貴（東京女子医科大学病院 泌尿器科）

Poster Session9

15:55-16:55

座長：松本 洋明（山口県立総合医療センター 泌尿器科）

- P-55 転移を有する非淡明型腎細胞癌に対する複合免疫療法の治療効果
松木 雅裕（札幌医科大学泌尿器科）
- P-56 免疫チェックポイント阻害薬併用療法を施行した転移性粘液性管状紡錘細胞癌（MTSCC）の3例
町田 晶（岩手医科大学泌尿器科学講座）
- P-57 原発不明淡明細胞癌の一例
西村 謙一（愛媛大学）
- P-58 分子標的薬・IO時代における腎細胞癌脳転移に対する集学的治療の検討
古川 祥之（防衛医科大学校病院）
- P-59 骨転移を有する進行腎細胞癌における IO combination therapy の意義
平野 泰嗣（久留米大学病院）
- P-60 IrAEによる Nivolumab 投与中止後、放射線治療後に Nivolumab 再投与を行い、奏功した1例
中西 裕美（諫早総合病院）
- P-61 症候性進行性腎細胞癌3例に対するチロシンキナーゼ阻害薬（TKI）治療の経験
森本 勇樹（聖マリアンナ医科大学病院）

Poster Session10

15:55-16:55

座長：大庭康司郎（長崎大学 泌尿器科）

- P-62 筑波大学附属病院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療アウトカム
神鳥 周也（筑波大学 腎泌尿器外科）
- P-63 当院におけるロボット支援下腎部分切除術の周術期成績に関する検討
齋藤 心平（千葉大学医学部附属病院泌尿器科）
- P-64 ロボット支援下腎部分切除術における経腹膜アプローチと後腹膜アプローチの術後アウトカムの比較検討
岩澤 智裕（慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室）
- P-65 レベル1-2 下大静脈腫瘍塞栓症例に対する鏡視下手術の検討
山崎 健史（大阪公立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学）
- P-66 腎部分切除術後の再発症例及び救済手術の成績の検討
柴崎 昇（神戸市立医療センター中央市民病院 泌尿器科／日本赤十字社和歌山医療センター 泌尿器科）
- P-67 cT1腎癌における TSI grade 高値はpT3へのupstageと相関する
山下 真平（和歌山県立医科大学泌尿器科）
- P-68 hinotori™手術システムを用いたロボット支援下腎部分切除術導入の臨床的および経済的実現可能性：単施設後ろ向き研究
武田 隼人（日本医科大学）

Poster Session11

15:55-16:55

座長：永田 政義（順天堂大学 泌尿器科）

- P-69 小径腎腫瘍に対する経皮的凍結療法の臨床成績
彦坂 充俊（防衛医科大学校泌尿器科学講座）
- P-70 対側の clear cell renal cell carcinoma を経皮的局所療法で治療し、全摘後も透析導入を回避し得た tubulocystic renal cell carcinoma の一例
永本 将一（埼玉医科大学総合医療センター泌尿器科）
- P-71 転移性腎細胞癌の oligoprogression に対する局所放射線治療の検討
坪沼 裕人（産業医科大学病院）
- P-72 腎癌原発巣に対して定位照射で疾患制御が得られている症例の経験
深沢 賢（船橋市立医療センター）
- P-73 転移性腎細胞癌における deferred cytoreductive nephrectomy の患者選択と治療成績の検討
志賀 正宣（筑波大学附属病院）
- P-74 Adjuvant pembrolizumab 投与後の骨転移に対して薬物治療後に外科的切除を行った一例
杉田 佳弘（産業医科大学 泌尿器科）
- P-75 結腸浸潤を伴う腎細胞癌に対し、結腸合併切除を伴うロボット支援下根治的腎摘除術の 3 例
濱田 晃佑（大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病退学）

▶ 2日目 2026年7月4日(土)

A 会場 (7F アイーナホール)

8:45-15:40

MS1 モーニングセミナー1「原発巣の有無から考える転移を有する腎癌の個別化治療」 8:45-9:30

座長：立神 勝則（北九州市立医療センター 泌尿器科）
富田 善彦（NPO 法人 日本腎泌尿器疾患研究ネットワーク）
共催：小野薬品工業株式会社、ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

- MS1-1 “効いた先”を見据える -Ipi + Nivo が拓く長期生存の可能性-
山下 真平（和歌山県立医科大学 泌尿器科）
- MS1-2 転移を有する腎がんにおける IOIO の価値を問直す
吉田 一彦（東京女子医科大学 泌尿器科）

JS2 研究会主導セッション2「腎癌研究会コンセプト検討グループ報告」 9:40-10:10

座長：三浦 裕司（がん研有明病院 総合腫瘍科）

- JS2-1 転移性腎細胞癌に対する ICI 併用療法後の deferred CN の予後因子探索：多施設研究
加藤 廉平（岩手医科大学 泌尿器科）
- JS2-2 非転移性の非淡明細胞癌における根治術後長期無再発生存率の大規模多施設後方視的研究 (2402 研究)
佐塚 智和（千葉大学 泌尿器科）
- JS2-3 転移を有する腎細胞癌患者における免疫チェックポイント阻害薬併用療法による腎障害と腎機能予後に関する検討
藤原 基裕（東京科学大学）/ 元島 崇信（済生会熊本病院）

E1 教育講演

10:20-11:20

座長：江藤 正俊（福岡中央病院 泌尿器科）

- E1-1 2026年版 腎癌診療ガイドライン改訂のポイント
後藤 駿介（九州大学 泌尿器科）
- E1-2 腎癌診療ガイドライン 2026年版：薬物療法アップデート
田中 一（東京科学大学 泌尿器科）
- E1-3 「外科治療」における改訂点
近藤 恒徳（東京女子医科大学足立医療センター 泌尿器科）

JS3 研究会主導セッション3「腎癌の集学的治療:Case Discussion」

11:30-12:30

座長：高木 敏男（東京女子医科大学 泌尿器科）
都築 豊徳（愛知医科大学 病理診断科）
コメンテーター：Javier Puente, MD, PhD (Hospital Universitario Clinico San Carlos, Madrid, Spain)

- JS3-1 免疫チェックポイント阻害薬時代の肉腫様成分を伴う腎細胞癌に対する集学的治療
沼倉 一幸（旭川医科大学 腎泌尿器外科学講座）
- JS3-2 Multidisciplinary Management of Metastatic ccRCC with Heterogeneous Response to Belzutifan After IO and TKI Therapy
城武 卓（埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科）
- JS3-3 脳転移を伴う嫌色素性腎細胞癌 (Chromophobe RCC with brain metastases)
内藤 整（山形大学医学部腎泌尿器外科学講座）

LS1 ランチョンセミナー 1

12:40-13:25

座長：近藤 恒徳（東京女子医科大学附属足立医療センター 泌尿器科）
共催：MSD 株式会社

LS1 Treatment sequence for metastatic renal cell carcinoma: From first-line therapy to subsequent treatments
Javier Puente, MD, PhD (Hospital Universitario Clinico San Carlos, Madrid, Spain)

SS2 スポンサーセミナー 2「腎癌骨転移に対する集学的治療の現在地と今後の展望」 13:35-14:20

座長：齋藤 一隆（獨協医科大学埼玉医療センター 泌尿器科）
高木 敏男（東京女子医科大学 泌尿器科）
共催：武田薬品工業株式会社

SS2-1 整形外科の立場から診療する RCC 骨病変について～診療連携に基づいた手術戦略と化学療法に期待すること～
秋山 達（自治医科大学附属さいたま医療センター 整形外科）

SS2-2 腎癌一次治療の選択～骨転移症例に長期生存をめざすには～
佐塚 智和（千葉大学医学部附属病院 泌尿器科）

JS4 研究会主導セッション 4「臨床実装に向けた腎癌研究」

14:30-15:30

座長：神波 大己（熊本大学大学院生命科学研究部 泌尿器学分野）
小原 航（岩手医科大学医学部 泌尿器科学講座）

JS4-1 腎細胞癌における ctDNA 解析の臨床実装：トランスレーショナル研究から実臨床へ
加藤 大悟（大阪大学医学部大学院医学系研究科 泌尿器科）

JS4-2 マクロ・組織学的腫瘍微小環境・遺伝子情報を統合した腎癌治療戦略への挑戦
大江 知里（兵庫医科大学医学部 病理学・病理診断部門 / 病理診断科）

JS4-3 腎癌分子多様性を統合する次世代精密医療プラットフォームの開発
蓮見 壽史（横浜市立大学 泌尿器科）

閉会式

15:35-15:40

B 会場 (8F 804 号室)

8:45-14:20

MS2 モーニングセミナー 2

8:45-9:30

座長：畠山 真吾（弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座）
木村 剛（日本医科大学 泌尿器科）
共催：メルクバイオフーマ株式会社

MS2-1 腎細胞癌における癌免疫療法の進歩
北野 滋久（がん研有明病院 先端医療開発センター がん免疫治療開発部）

MS2-2 Favorable risk mRCC：そのレジメン選択、本当に最善ですか？～リアルワールドからの再考～
植田 浩介（久留米大学 医学部泌尿器科学講座）

LS2 ランチョンセミナー 2 「腎凍結療法の実態と適応拡大」

12:40-13:25

座長：江藤 正俊（福岡中央病院 泌尿器科）
本郷 文弥（近江八幡市立総合医療センター 泌尿器科）
共催：ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社

LS2-1 凍結療法導入による当院の腎癌治療戦略の変化

三浦 徳宣（愛媛大学医学部 泌尿器科）

LS2-2 凍結療法適応拡大～結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫～

柏木 英志（産業医科大学医学部 泌尿器科）

SS3 スポンサーセミナー 3 「腎癌手術における次世代 da Vinci の役割:da Vinci 5 と SP への期待」

13:35-14:20

座長：羽賀 宣博（福岡大学）
納谷 幸男（帝京大学ちば総合医療センター 泌尿器科）
共催：インテュイティブサージカル合同会社

SS3-1 Da Vinci SP で広がる腎癌手術の選択肢

西川 晃平（三重大学 医学系研究科腎泌尿器外科学）

SS3-2 Da Vinci 5 導入から半年の経験と今後の可能性

槇山 和秀（横浜市立大学 泌尿器病態学）